平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名　イマジニア株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4644　URL http://www.imagineer.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼CEO　(氏名) 神藏　孝之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO　(氏名) 中根　昌幸　TEL 03-3343-8911
四半期報告書提出予定日　平成27年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,552	△6.7	509	△4.0	557	△16.0	357	△26.1
26年3月期第3四半期	2,734	△3.9	530	△23.9	663	△6.4	483	4.3

(注)包括利益　27年3月期第3四半期　341百万円　(△47.2%)　26年3月期第3四半期　645百万円　(37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	37.23	—
26年3月期第3四半期	50.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	9,222	8,597	93.2	895.44
26年3月期	8,991	8,468	94.1	881.89

(参考)自己資本　27年3月期第3四半期　8,594百万円　26年3月期　8,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
27年3月期	—	10.00	—		
27年3月期(予想)				12.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,725	0.9	700	3.4	700	△19.4	420	△29.3	43.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	10,649,000 株	26年3月期	10,649,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,051,321 株	26年3月期	1,051,321 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	9,597,679 株	26年3月期3Q	9,597,682 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7
(セグメント情報等) …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に弱い動きがあるものの雇用情勢及び生産などは改善し、全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費者マインドの弱さや海外の経済の下振れなど不安定な要因もあります。

当社グループに関連するモバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンが国内のみならず世界的に普及が進んでおります。

このような環境下におきまして、中長期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、スマートフォン向けの新たなビジネスの構築に取り組んでおります。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高2,552,069千円（前年同期比6.7％減）、営業利益509,621千円（前年同期比4.0％減）、経常利益557,911千円（前年同期比16.0％減）、四半期純利益357,365千円（前年同期比26.1％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、前年同期比較の数値は、前第３四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。詳細は、「３．四半期連結財務諸表（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「Ⅱ ３．報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

（モバイルコンテンツ事業）

モバイルコンテンツ事業におきましては、新たなビジネスの構築を目指して、スマートフォン向けのキャリア主導サービス及び月額課金サービスの提供の拡大、新しい教養メディア「10 Ｍ ＴＶオピニオン」の普及、「ＬＩＮＥ」等のメッセンジャーサービスへのビジネス拡大、海外へのコンテンツ提供に取り組んでおります。

上記の結果、売上高1,916,858千円（前年同期比2.5％減）、セグメント利益656,527千円（前年同期比6.6％減）となりました。

（モバイルコマース事業）

モバイルコマース事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、デジタルコンテンツとの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大及び、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に取り組んでおります。

上記の結果、売上高253,072千円（前年同期比40.3％減）、セグメント利益1,480千円（前年同期比89.6％減）となりました。

（パッケージソフトウェア事業）

パッケージソフトウェア事業におきましては、「メダロット」シリーズの続編となる「メダロット８」をニンテンドー３ＤＳ向けタイトルとして発売いたしました。

上記の結果、売上高385,566千円（前年同期比11.9％増）、セグメント利益47,903千円（前年同期は871千円のセグメント利益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して231,123千円増加した9,222,866千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が389,816千円の増加、有価証券が153,104千円の増加となったものの、流動資産のその他が299,621千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して101,855千円増加した625,162千円となりました。その主な要因は、営業未払金が63,247千円の増加、流動負債のその他が52,758千円の増加となったものの、未払法人税等が56,919千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して129,267千円増加した8,597,704千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が146,216千円の増加となったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年３月期の通期の連結業績見通しは、平成26年5月14日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成26年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,900,227	7,290,043
売掛金	788,891	705,918
有価証券	－	153,104
商品及び製品	16,429	44,624
仕掛品	2,614	4,941
原材料及び貯蔵品	12	18
その他	355,222	55,600
貸倒引当金	△7,415	△9,877
流動資産合計	8,055,982	8,244,373
固定資産		
有形固定資産	75,643	66,430
無形固定資産	39,173	31,227
投資その他の資産		
投資有価証券	531,438	608,324
その他	306,064	283,669
貸倒引当金	△16,559	△11,159
投資その他の資産合計	820,943	880,834
固定資産合計	935,760	978,493
資産合計	8,991,743	9,222,866
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,413	47,126
営業未払金	200,901	264,149
未払法人税等	113,978	57,058
賞与引当金	－	13,500
返品調整引当金	13,973	11,171
その他	174,083	226,841
流動負債合計	514,350	619,848
固定負債	8,955	5,314
負債合計	523,306	625,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,932,195	4,078,411
自己株式	△622,323	△622,323
株主資本合計	8,444,894	8,591,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,255	3,124
その他の包括利益累計額合計	19,255	3,124
新株予約権	4,286	3,468
純資産合計	8,468,436	8,597,704
負債純資産合計	8,991,743	9,222,866

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
売上高	2,734,654	2,552,069
売上原価	1,207,761	1,078,385
売上総利益	1,526,892	1,473,683
返品調整引当金戻入額	－	29,491
返品調整引当金繰入額	－	26,689
差引売上総利益	1,526,892	1,476,485
販売費及び一般管理費	996,106	966,864
営業利益	530,785	509,621
営業外収益		
為替差益	1,933	33,380
貸倒引当金戻入額	5,400	5,400
その他	127,676	13,739
営業外収益合計	135,009	52,519
営業外費用		
持分法による投資損失	1,889	1,739
雑損失	－	2,000
その他	119	490
営業外費用合計	2,009	4,230
経常利益	663,786	557,911
特別利益		
投資有価証券売却益	208,016	36,966
新株予約権戻入益	－	817
負ののれん発生益	5,002	－
特別利益合計	213,018	37,784
特別損失		
投資有価証券評価損	－	1,005
投資有価証券売却損	142,595	25,990
特別損失合計	142,595	26,996
税金等調整前四半期純利益	734,209	568,698
法人税、住民税及び事業税	185,734	179,624
法人税等調整額	64,645	31,709
法人税等合計	250,380	211,333
少数株主損益調整前四半期純利益	483,829	357,365
四半期純利益	483,829	357,365

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	483,829	357,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161,900	△16,130
その他の包括利益合計	161,900	△16,130
四半期包括利益	645,729	341,234
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,729	341,234
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルコンテンツ事業	モバイルコマース事業	パッケージソフトウェア事業	計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
売上高						
外部顧客への売上高	1,966,610	423,757	344,286	2,734,654	－	2,734,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	141	141	(141)	－
計	1,966,610	423,757	344,428	2,734,796	(141)	2,734,654
セグメント利益	703,254	14,220	871	718,345	(187,559)	530,785

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,002千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルコンテンツ事業	モバイルコマース事業	パッケージソフトウェア事業	計	調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
売上高						
外部顧客への売上高	1,916,858	249,988	385,221	2,552,069	－	2,552,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3,084	344	3,428	(3,428)	－
計	1,916,858	253,072	385,566	2,555,497	(3,428)	2,552,069
セグメント利益	656,527	1,480	47,903	705,911	(196,289)	509,621

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去1,117千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197,407千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、セグメント情報における報告セグメントを従来「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」、「パッケージソフトウェア事業」及び「投資教育事業」の４区分としていましたが、第１四半期連結会計期間より、「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」及び「パッケージソフトウェア事業」の３区分に変更することといたしました。

これは、前連結会計年度において「投資教育事業」を営むイマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社の全株式を譲渡したことにより重要性が乏しくなったことに伴い、「投資教育事業」を「モバイルコンテンツ事業」に含めるよう変更したことによるものであります。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。